

目標達成計画

作成日: 平成 23年 5月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	22年度は運営推進会議が年5回に留まったため、目標の年6回開催していく。	23年度は運営推進会議を6回開催する。 また、グループホームが地域に対して出来る事や役割等をみつけて、より地域に密着したグループホームになるように目指す。	2ヶ月に1回、年6回開催出来るように開催前月に予定を組み、参加者に依頼する。	12ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアは常時実践しており、個々に合わせてケアを行っているが、「指定基準において禁止の対象となる具体的な行為」をスタッフ全員がまだ理解しているとは言えない。	スタッフ全員が指定基準において禁止の対象となる具体的な行為を理解し、ケアに活かしていけるようにする。	マニュアルの整備や、さまざまな勉強会に参加してスタッフ全員が理解出来るように取り組む。	6ヶ月
3	33	終末期のあり方についての指針が計画段階のために、具体的な支援に取り組みにくい。	重度化や終末期に向けた指針を作成し、支援につなげていく。	勉強会に参加中であり、早急に指針を作成していく。また、スタッフ全員が共有出来るように取り組んでいく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。